

平成25年第1回定例会(第5日目) 2013.02.25

発言順: 1 大泉鉄之助(自由民主党)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:市長の長期ビジョン(仙台市の将来像)	0	0	0	0
2:民間の福祉団体等に対する普通財産の無償貸し付けを有償に切り替えることを慎重に判断し、軟着陸を模索すべき	0	0	1	1
	0	0	1	1

【コメント】

--

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 政権交代以降の大都市仙台としての国に対する活動についての評価。本市要望に対する国の対応。今後の予定。	0	0	0	0
2: 東部地区における農業の再生について ・ 圃場整備の前提である地権者同意の取り付けについての現状認識と今後の取り組み ・ 営農者が六次産業化について理解できる仕組みの必要性 ・ 農業の高度化と連携した六次産業化の先導方法 ・ 農業園芸センターへの放射能測定器の配置	0	0	1	1
3: 農業での再生可能エネルギーの活用方法	0	0	1	1
4: 参院選と市長選挙の同日選挙が可能になるよう国に要望を出すべき	0	0	1	1
	0	0	3	3

【コメント】

1⇒この質問に対する回答から本来の質問が始まるのではないか。質問の前提を確認して終了という質問形式を再検討する必要がある。

2⇒「現状認識と今後の取り組み」は事前に担当者に確認して質問すべき。「農業の高度化と連携した六次産業化」については質問者が最も効果的と考える対策を詳しく紹介し、その実施を求めるべき。対策を一般的に羅列するだけでは不足。

平成25年第1回定例会(第5日目) 2013.02.25

発言順: 3 岡本あき子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 地域主権改革について ・一括交付金の見直しを含め地域主権の動きについての市長の所見 ・増税への理解を求める必要 ・復興計画中間年に取り組む市長の決意 ・住宅再建にかかる消費税分の免除を求めるべき	0	0	1	1
2: 復興公営住宅の整備について ・建設単価の高騰と集合住宅設計の共用部分を確保するための独自の対策 ・地元木材の使用 ・申し込みやすい形での入居ルール ・多重請負を発生させないための独自規制	1	1	2	4
3: 地域防災計画について ・中間案からの動き ・12月の地震を踏まえた検証 ・市民への広報と継続的働きかけ ・原子力災害対策編と分析, 評価を依頼する専門機関 ・パニックや風評被害を防止するための情報の精査と発信方法 ・健康調査についての計画的な対応	1	0	1	2
4: マンションの防災対策 ・災害に強いマンションを(開発の段階から)増やすべき。復興公営住宅からそれを率先すべき。 ・地盤を含めての建物(特にマンション)の安全性の評価 ・共有部分での備蓄倉庫の義務化 ・災害時のエレベーター事故への対応	1	2	2	5
5: 空き家対策 ・わかりやすく, 相談しやすい相談窓口 ・関係自治体と連携した国への要望 ・専門機関や民間の力を借りた予防と課題解消	0	1	1	2
6: 400年前の慶長遣欧使節を再現し, 市民を盛り上げる仕掛け	0	0	1	1
	3	4	8	15

【コメント】

2⇒「復興公営住宅の整備」の諸課題を把握し, 具体的改善策を伴った優れた質問。
4⇒マンションの防災対策の調査結果を踏まえ, 具体的改善案を伴った優れた質問。

平成25年第1回定例会(第5日目) 2013.02.25

発言順: 4 高橋次男(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 仙台ふるさと偉人伝をふるさと教育の副読本として出版し、活用すべき	0	0	1	1
2: PM2.5の観測体制の整備と環境省等と連携した情報の早期提供	0	0	1	1
3: 消防はしご乗り、木遣り隊の導入について(木遣り隊の育成。はしご乗りの文化財指定登録)	2	0	1	3
4: 南仙台駅にある東西自由道路のバリアフリー化	2	0	1	3
	4	0	4	8

【コメント】

3⇒調査に基づき具体案を伴った質問。
4⇒こちらも3同様、調査結果に基づいた質問。

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 災害時要援護者支援について ・地域の支え手の確保 ・避難所の防災マニュアルの作成, 避難体制の構築, 事業者との事前の協議 ・特別支援学級等に通っている児童生徒の受け入れ施設(災害時の避難所としての特別支援学級の開設)の検討状況	1	0	2	3
2: 障害児の放課後ケア ・利用時間の柔軟な対応 ・学校と事業所との連携 ・児童館の役目(障害児の放課後ケアと児童館の併設の拡大)	2	0	2	4
3: アレルギー対策 ・昨年12月の東京都内の小学校での食物アレルギーによるアナフィラキシーショック死亡事故を受けての本市の対応強化の内容 ・アレルギー専門医による研修の実施	0	0	1	1
4: 大気汚染の対応 ・中国から飛来するPM2.5による大気汚染問題についての認識 ・今後の対応	0	0	0	0
5: 消費者教育推進法について ・現状についての認識 ・学校における消費者教育の推進と取り組み ・地域における消費者教育の推進と取り組み	0	0	0	0
	3	0	5	8

【コメント】

- 2⇒調査に基づき, 具体的改善案を伴った優れた質問。
 4⇒「今後の対応」は他都市の先進事例を調査し, その導入を求める形の質問にするべき。
 5⇒学校や地域の取り組みの現状を調査して問題点を指摘するべき。

平成25年第1回定例会(第5日目) 2013.02.25

発言順: 6 ふなやま由美(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 政府に対し労働法制の規制緩和の中止, 働く者の賃金・所得の向上, 消費税の増税の中止等を強く求めるべき	0	0	0	0
2: 所得の保障と安定した雇用をつくっていくことを市の経済政策の基軸に据えるべき	1	0	1	2
3: 市立高の卒業生が地域経済の担い手として活躍できるようにするため就職支援員は正規雇用とするべき	1	0	1	2
4: 震災対応就職支援事業の問題点と実態調査の必要性, 人材派遣会社への丸投げをやめて事業の見直しを行うべき	2	0	1	3
5: 働く若者への支援の必要性 ・国に対しブラック企業の是正を行うよう求めるべき ・若者のまちといえるような積極的な取り組みを市の雇用対策の分野で強めるべき ・学習パンフレットの学級での配付等若者の学びの機会をつくるべき	1	0	1	2
6: 事業復興型雇用創出事業の助成を増やすべき	1	0	1	2
7: 中小企業や地元商店街を応援する施策を積極的に展開すべき。商店街イベント実施事業助成金の減額はやめるべき	0	0	1	1
8: 国の緊急雇用創出事業を活用した事業の充実化, 経済活性化にあたる職員を増やし, 足元からの経済復興策に本腰を入れるべき	0	0	1	1
9: 中小企業や商店街を応援する予算を増やすべき	0	0	1	1
10: 金融円滑化法の打ち切りをやめるよう政府に強く働きかけるべき	0	0	1	1
11: 市の発注工事の点検の強化	1	0	1	2
12: 公契約条例の制定の必要性	0	0	1	1
	7	0	11	18

【コメント】

- 1⇒このパターンの質問の実効性を検証する必要がある。
 4⇒調査結果に基づく優れた質問。
 5⇒「若者のまちといえるような積極的な取り組み」とは何かを突き詰める必要がある。
 7⇒「中小企業や地元商店街を応援する施策」とは何か, 他都市の先進事例の調査が不可欠ではないか。

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 生活保護制度の見直し ・生活保護制度についての市長の所見 ・生活保護受給者増の要因についての市長の認識 ・本市の動向とその他世帯は8.9%増加している要因、今後の行方 ・生活扶助が削減される場合の本市の影響(関連施策への影響) ・正すべきは最低賃金の引き上げと安定収入が確保できる雇用の改善 ・制度を食いものにしていく貧困ビジネスの是正と必要としている人が適切に利用できるよう制度を正常に機能させること(それについての所見) ・就労支援学習支援の重要性と事業の強化拡充(それについての所見)	2	0	2	4
2: コミュニティーサイクルの本格実施と自転車交通政策について ・利用者のニーズに応える内容になっているか ・繻子にゆうの確保 ・公共交通との連携 ・まちなか自転車プランの施策の具現化 ・自転車レーンの整備等の安全対策	2	1	2	5
	4	1	4	9

【コメント】

2⇒これも調査研究をもとに具体策を伴った優れた質問